

平成27年度岐阜南・西濃合同学術研修会

南澤 英樹 先生 三重県歯科技工士会

#### 演題

歯科技工物の平均点をあげる ～信頼関係構築の為に今、発信したい事～

#### 抄録

歯科技工ライセンスを取得し、早いもので来年30年目を迎えます。

この節目に技工士の立ち位置を考えてみたいと思います。

良い歯科技工物を製作する為に発信する意見や提案は、チェアサイドとの信頼関係を深くし、チーム医療の一員として責任感を自覚する上でとても大切な事と思います。

歯科技工士が各種講演会やセミナーで習得した技術をより高いものにしようと臨床に取り組み研鑽する事は必要不可欠であります。

それと同等かもしくはそれ以上に歯科医師とのコミュニケーションは、重要と考えます。

歯科技工物が少しでも良い補綴物に近づく為には、歯科技工士自らが手を挙げ、自分自信の技術力を発揮できる歯科技工環境を求め、少しでも平均点の高い歯科技工物を製作できるよう歯科医師に理解を求めていく姿勢が今、求められているように思います。

今回、QDT2015年3月、4月号に掲載しました内容に焦点を当て、臨床歯科技工の日々の葛藤を正直にお話しさせて頂く事で、チェアサイドとの信頼関係構築の第一歩に、或いはさらなる上積みになれば幸いと思っております。

この機会にみなさんの忌憚なき率直な意見をお聞かせ頂きまして明日からの自分の励みにしたいと考えております。

どうぞよろしくお願い致します。